

校長室から

みなさん、こんにちは。ようこそ、鹿児島市立武岡小学校のホームページへ。

「みんなの全力が、人を感動させる」

アメダスは、雨の予報を出してはいたが、途中、テントに避難することもあると考えてのゴーサインだった。結果的に、無事に第48回秋季途大運動会を開催、先ほど、終了することが出来た。保護者、地域の方々が多く見守る中、子どもたちが最高のパフォーマンスを発揮することができた。

途中で転んでもすぐに立ち上がり、最後まで走り切る。何位であっても、全力で走り切る。ふざけた感じでゴールしたり、思わせぶりの態度でゴールしたりする子は一人もいなかった。そんな全力の姿が見ている人を感動させるのだ。

校庭いっぱい広がった1・2年生の「アイドル」のダンス。かわいくて、参観者から大きな声援があがる。教師はつかずとも、子供たちだけで、ちゃあんとできるのだ。

練習よりも、スムーズに、しかも確実にボールをうまくコントロールしながら、進む3年生の団体種目「心をつないで」。スピード勝負か、パワー勝負か、どの棒から狙うのか、負けそうになったら、すぐに見切りをつけ、勝てそうな棒に走っていく。どんなに負けていても簡単に諦めることなく、次を見つけて猛ダッシュ。たとえ、引きずられてもなんてことはない。エネルギッシュな4年生団体種目「竹取物語」。

5、6年生は最後の退場まで、決して観客を飽きさせることはない、表現。難しい振付を完璧に覚えて、さすがは、高学年といえる演技だった。一糸乱れぬ緑色の旗が、ONE PIECEの冒険を彷彿させるかっこいい子供達だった。



応援は、どちらも遜色ない、まさに「全力応援」だった。校庭いっぱい響き渡る児童全員の声は、全員の子もたちが一体となった瞬間だった。赤白どちらも最後まで、自分たちの力を信じた大きなエールだった。結果、赤白の総合得点は、2点の僅差だった。

金管バンドも素敵だった。いろんなことを乗り越えての演奏だった。青のユニフォームが、みんなの憧れだった。

6年生の親子種目の一体感は、何だろう。速やかな編成、一生懸命な親子（兄弟）での走り。もうどちらが親かわからないほど、子どもたちの身長も伸びてきた。リズムに乗ったミッキーの踊りは、見ている人を「誰しも、笑顔にさせる」そんな踊りだった。

最後は、「赤白リレー。」圧巻だった。抜きつ抜かれつのデッドヒート。そんな中、1年生にやさしくアドバイスする6年生の姿が何とも誇らしかった。1年生もそのアドバイスに真剣に応えた走りだった。最後の最後まで、誰もが全力疾走した。

何より、役員の子どもたちの動きが素晴らしかった。堂々とした児童代表の挨拶、しっかりと腕を伸ばしての準備体操・整理運動、本校独自の「運動会の歌」のみんなに見える大きな指揮、落ち着いた進行、アナウンサー顔負けの放送、的確な審判。スタートする子どもたちをうまくコントロールする出発、校庭を素早く横切り、見ていて心地よい動きの用具、他、みんなの動きが美しく、スピーディーで、それでいて無駄がなかった。そのため、10分近くも早く終了することができた。

また、今回は、特にPTAの方々のお力も大変、有難かった。医療従事者のエントリー（熱中症は一人も出なかった。何より安心感が違った。）、そして、一番大変な「テントの片付け」には、多くの方の手伝いがあった。他、いろんなところで、本当に助かった。おかげで教師は、「子供たちへの指導」に集中することが出来た。子どもたちも終了後、速やかに帰すこともできた。この場を借りて感謝申し上げたい。

今頃、運動会での「感動」を家庭でも話をしてくださっているのではと想像すると嬉しくなる。

これまでの皆様のご理解、ご協力、本当にありがとうございました。